



木材利用と木造住宅普及の ための5つのアクション

「木のまち・木のいえ推進フォーラム」とは？

我が国の森林資源は育成過程から利用過程に入っており、効率的に利用しながら、量的増大が図られれば、森林整備も今以上の推進が期待されます。

木材の利用を全国的に、かつ効果的に進めていくためには、有識者、住宅産業及び林業・木材産業等の事業者、関係団体、地方公共団体等の木材利用に取り組む関係者等が広く集い、木材利用に関する方策の検討、情報発信、ノウハウの提供や情報交換を行うことが重要です。

「木のまち・木のいえ推進フォーラム」は、産学官の連携の下で、木材需要の多くを占める住宅等の建築物

への木材利用を一層促進することを

目的として、建築や木材関係の専門家や関係者が発起人となって平成二〇年一月に設立されました。本年二月には東京国際フォーラムで設立大会を開催し、活動を展開しています。

(1) ネットフォーラム

「木のまち・木のいえネットフォーラム」は、ホームページ上で建築物への木材利用を促進するための議論を展開するものです。様々な分野の方々が、木材利用を促進するために特定のテーマを設けて、情報を共有しながら、意見を出し合います。

これまで、建築や木材産業分野の「人材育成」に関する意見の募集を終了したところですが、今後も様々な

テーマを設け意見を募集します。

(2) リレーフォーラム

「木のまち・木のいえリレーフォーラム」は、全国各地の木材生産・流通の活発な地域や木材を積極的に活用している地域などを中心に、地元関係者が参加するシンポジウムなどの交流イベントです。

リレーフォーラムの 開催状況

リレーフォーラムは、これまで全国六カ所、各地にふさわしいテーマを設定し、議論を行っています。

(1) 木のまち・木のいえリレー

フォーラム イン 新木場
フォーラムは、平成二十二年三月二

八日に日本を代表する木材集積地である東京都新木場開催でスタートしました。約三〇〇人が集まり、「木のいえづくりのアプローチ」新木場の役割と将来展望」をテーマとして、①職人の能力に関するこれからの仕組みづくり、②情報発信基地としての新木場の役割、③工務店と材木店のつながりなどについて、議論を深めました。

(2) 木のまち・木のいえリレーフォーラム イン 鹿沼

第二回は、東京から北上し、栃木県鹿沼市にリレーされました。平成二十二年八月二三日、約四〇〇人を集め、開催されました。当地は、住宅生産者への部材供給の主要な役割を果たしている地域で、「地域材を活かした木のいえづくりへ向けて」住宅生産者と木材加工業、森林整備・素材生産業との連携」をテーマに、大手住宅メーカー、製材業者、プレカット業者、林業関係者等により、①住宅メーカーの国産材利用の動きとプレカット工場・製材工場の連携、②地域に根付いた安心できる家づくりネットワーク、③国産材を使う価値の川下への発信とユーザーニーズの



フォーラム会場風景

した。

(4) 木のまち・木のいえリレー
フォーラム イン 東京

第四回は、平成二十二年二月二日東京に戻り、港区の芝浦工大に約一六〇人が集まり、「どこで、だれが、どう育てるか、長期優良木造住宅の担い手」と題して、開催されました。①長期優良木造住宅における維持保全の履歴情報の作成、蓄積、②長期使用に耐える構造などの技術研究開発の推進と普及、③必要な人材の育成、資質の向上と育成する手法及び指導者の必要性などについて議論を行いました。

(5) 木のまち・木のいえリレー
フォーラム イン 松本

第五回は、西へ向かい、近代教育施設の先駆けである「開智学校」が建てられた長野県松本市で開催されました。平成二十二年一月三〇日、約二〇〇名が参加したこのフォーラムでは、学校施設等における木材の使用は、就学環境として極めて有効であることに着目し、「木の香る学舎づくりに向けて」と題して、①学校建築への木材利用の推進策、②地域

材利用を積極的に進めるためのインセンティブ、③必要となる部材開発やモデルの構築などについて議論を深めました。

(6) 木のまち・木のいえリレー
フォーラム イン 西条

本年度のアンカー開催となる第六回は、平成二十二年二月二〇日、愛媛県西条市で行われました。

「四国はひとつく材木資源情報の集中と発信」と題して、西日本エリアでの最大の消費地である関西地方と、木材生産地である四国四県を結び、学識経験者、林業関係者、製材業者、建具・指物師、消費者など幅広い参加者による意見交換が行われました。参加者は約七〇〇名にのぼり、これまでの最大規模となりました。

四国各県の実情を織り交ぜながら、①品質・性能の確かな木材製品の供給、②安定供給を支えるための施業の団地化、③消費者への情報発信などについて幅広く議論を行いました。

積極的なご参加を
お願いいたします

ホームページ上では、木造住宅・建築物に関する助成制度の公募情報、全国各地で行われている様々なイベントを紹介しています。これらの情報は、地域や内容によって検索できますので、是非ご覧いただき、ネットフォーラムや各地のリレーフォーラム（来年度も引き続き開催予定）に参加して建築物への木材利用の推進にご協力を願っております。

（フォーラムのHPアドレスは
<http://www.kinomachikinoino.jp/>）

川上への汲み上げなどについて、議論
を行われました。

(3) 木のまち・木のいえリレー
フォーラム イン みやぎ

さらに北上し、第三回は、平成二十一年一〇月三日に東北の一大木材消費地である仙台市で約一〇〇人の参加者が集まりました。「地域材を使ってもっと森林を元気に」をテーマとして、①作り手である大工等が中心となった地域での町づくり、②環境貢献の面からの木材利用の重要性の普及、③創意工夫による木造住宅の建築などについて、議論が行われま

